

平成31年4月からこども医療費助成制度

窓口無料化が中学3年生まで拡大します!!!

平成31年度4月診療分から、対象年齢を中学3年生まで拡大となります。子育てをしながら仕事や介護に勤むお母さんの忙しさから、心に余裕がなく毎日を精一杯子育てしているお母さんが沢山いること、また、「子育て世代へ何か支援をしたい」という、シニア世代や学生の方々の声が、この制度拡大に向けての決心につながりました。また党派を越え市議会から多くの議員も同制度の拡大を訴えてきました。私も議員となる前も今も働きながら育児をしている中で、本市の同制度は他市と比較して、子育てのしにくい環境と感じる要因の一つであることは実感。初めての一般質問(平成29年9月議会)や個人要望や会派要望で訴えてきたことなので、とてもうれしく感じています。本市は「産後ママ安心サポート事業」や「キッズピアあしかが」「市内全小中学校の耐震化や教室のエアコン設置」等、他市に誇れる環境が多くあり、同制度の拡大によって、より子育て環境が整ったと感じています。

今後の予定: 3月 新規現物対象者へ受給資格証の送付予定

市議会議員活動

市民会館等公共施設特別検討委員会

人口減少時代に向けて老朽化した公共施設をどうしていくのか、今後の本市の公共施設のあり方や管理・有効活用等の課題を調査・検討するため、市議会議員24名全員が所属する委員会を設置しました!

〈新しく生まれ変わる施設〉

1. 保健センター
2. 消防本部・中央消防署(大正町)
3. 斎場(新山町)
4. 南部クリーンセンター(野田町)
5. 市民会館(有楽町)

次世代へつなぐ施設であり、自治会館を含め隣接する施設についても地元議員として、しっかりと要望していきます!



本城3丁目に建設中!
平成31年3月 移転予定!
保健センターと医師会館(診療センター)を集約した施設です。

教育経済建設常任委員会 視察 in 山形県

南陽市

全国初となる大型木造耐火の文化ホール
「シェルターなんようホール」

RECORD HOLDER
ギネス世界記録に認定!



米沢市

民間の資金とノウハウを活用した
PFI制度による市営住宅建替等事業について



議会報告会・意見交換会

足利市議会は開かれた議会を目指し、市内の公民館をまわり市民の方々と交流を図り29回目を迎えました。今回は常任委員会ごとの3班に分かれ実施し、私は梁田公民館を担当しました。市政に対するご意見や地域のお困りごとなど、たくさんのご要望も聞かれました。

10月 足利大学 建築・情報・土木関係の学部の方々と「まちづくり討論会!」

12月 市内の6校の中学三年生の社会科(地方自治)の授業へ「出前授業!」



あしかが未来倶楽部 会派視察

若者世代の政治離れや無関心を防止するため、また主権者教育の一貫として、若者との交流を図っています。昨年は市内県立高校生とワークショップ形式の意見交換会を実施しました!

5月 広島県尾道市
遊休不動産再生による景観維持と若年移住者の起業促進による収益力の向上について



7月 福島県相馬市
震災の復興状況について



5月 山口県周南市
道の駅/レーノ周南の運営について

8月 西日本豪雨で被害を受けた尾道市へ視察の恩返しとして、災害ボランティアとして活動してきました!

Profile

- ◆1985年11月29日足利生まれ足利育ち33才 無所属
- ◆柳原小学校 足利第二中学校 県立足利南高校卒
- ◆足利市医師会付属准看護学校卒 准看護師資格取得 医療法人恵愛会青木病院勤務
- ◆太田市医師会太田看護専門学校卒 正看護師資格取得 獨協医科大学病院勤務
- ◆医療法人長崎病院勤務
- ◆2017年4月足利市議会議員補欠選挙初当選
- ◆父親・息子と3人暮らし

皆さまからのご意見ご要望、ご感想をお寄せください。
TEL 080-6636-9018 E-mail mayumi@kirari-mayumi.net

足利市議会議員 中島まゆみ事務所
〒326-0808 越前県足利市本城1丁目1601 TEL&FAX 0284-41-7030

元気に やさしく 私らしく

女性が変わる 未来と政治

2019年 新春特別号

足利市議会議員 中島 まゆみ 市議会レポート



新たな年を迎え、本年が皆様にとって、笑顔あふれる素晴らしい一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。
旧年中は、大変お世話になりました。お陰さまで母からのバトンを受け継ぎ1年8ヶ月が経ち、女性最年少議員として、大切な一議席の責任を日々実感しています。

大好きな大切な足利。
勉強を重ね、多くの人との出会いから学び、もっと皆さまのお役に立てるよう、一生懸命がんばることを年頭にお誓い申し上げます。

平成30年 第三定例会における一般質問・決算審査特別委員会 質疑 (9月議会 8月31日~9月26日)

【質問内容】

- 働き方改革について
- 市職員の働き方
- ワーク・ライフ・バランス
- 女性が長くまわづくりについて
- ひとり親家庭への支援強化
- 子ども映像メディアブースについて
- ICT体験施設
- 公文書管理について
- 本市の現状
- 文書のICT化

【質疑内容】

- 給養費
- 地域創生事業費
- 子ども映像メディア・アートプログラム事業
- 民生費
- 防犯関係費「防犯カメラシステム設置費」
- 児童福祉関係費「ファミリーサポートセンター運営費」
- 衛生費
- 予防費「健康増進事業費等「健康診査」

Q■屋内子ども遊び場「キッズピアあしかが」には、地方創生先行事業として国からの交付金を活用し併設された「子ども映像メディアアートブース」があり、最新のICT教育を遊びながら体験できる施設である。30年度をもって事業が終了となるが、同施設におけるICT体験について、今後の展開を聞きたい?

A■学習指導要領の改訂により2020年度からプログラミング教育が必修となるが、それに先駆けて同施設ではプログラミング教室を行うなど、子どもたちが遊びながらコンピューターの仕組みを習得し、プログラミングの楽しさを体験できている。今後も継続して事業を展開していきたい。

Q■ひとり親家庭では仕事と子育ての両方で忙しい日々を過ごしている。支援が必要な方に行政サービスを十分に行き届けることが大切であり、来所相談の予約や支援情報の定期的な配信など、携帯メールやアプリを活用した双方向型支援が有効と考えるがどうか?

A■ひとり親家庭の抱える問題は多様で課題が複雑化しているため、その不安解消や自立促進に向けた総合的な支援を引き続き推進していく。支援情報については、定例的なものが多く、手当の更新など個別に御案内をしている。携帯メール、アプリ、これらの双方向型支援の有効性など今後の検討課題としていく。

平成30年 第四定例会における一般質問・教育経済建設常任委員会 付託議案質疑 (12月議会 11月29日~12月28日)

【質問内容】

- 児童福祉について
- 児童虐待の対応と生親制度の取り組み
- 子宮頸がんについて
- 子宮頸がん予防ワクチン
- 予防の取り組み
- 高齢者の足の確保について
- 交通弱者への取り組み
- イノシシ対策について
- 児童生徒の安全確保
- 教育行政について
- 小学校のあり方

平成30年12月13日(木曜日)
下野新聞に掲載されました!

【質疑内容】

- 議案第92号
足利市立学校教科用図書審議会系列の制定について
- 議案第93号
足利市教育支援委員会系列の制定について

Q■子宮頸がん検診は、がん細胞が進行する前の状態を見つけることができ、がんの早期発見・治療につながる。本市では満20歳を対象に無料クーポンの配布をしているが、受診率は21.8%と低い状態であることから、受診率向上のための取り組み強化や、未受診者への再勧奨ハガキ等の工夫をするべきと考えるがどうか?

A■ハガキの色付けや内容も毎年検討し、平成30年度は検診が短時間で済むなどご案内した。また、リーフレットを配布し、かかりつけ医師から受診を勧めていただけるよう連携に取り組んでいる。今後は安足福祉センターと連携し、市内の大学生等と協働し講演会を利用し、情報提供できるよう検討していく。

Q■全国と同様に本市においても児童虐待の相談件数が増えている。子ども時代に虐待を受けることで脳への変化も含め人生のあらゆる時期に様々な問題をもたらすため、防止とともに早期発見が不可欠である。国は児童虐待防止対策における相談体制の強化のため、市町村に子ども家庭総合支援拠点の設置を促進しているが、本市の考えを聞きたい?

A■現在、家庭児童相談室に必要な専門職を配置し、機能強化を図っている。家庭総合支援拠点の設置については、子育て世代包括支援センター等との連携を強化しながら、先進都市なども参考に検討していきたい。

※12月議会より、本会議・各常任委員会のインターネット中継・録画配信がはじまりました!
パソコンやスマートフォンで視聴可能となりましたので、ぜひご覧ください。 <https://fashikaga-citystream.jfit.co.jp/>

足利市議会

検索